

学修状況調査（2023 年度） 分析結果

学修支援センター・IR 推進センター

2024 年 3 月 12 日

本資料は、2023 年 9 月 11 日から 9 月 29 日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で 2013 年度前期から、悉皆形式で 2017 年度前期から年 2 回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019 昨年度から昨年度までは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査してきた。今年度は、後期開始時に変更して実施した。

昨年度までは学部・学年別に分析してきたが、今回は全学部・全学年まとめて行う。回答数は 296 で、2023 年 10 月 1 日時点の在籍者数に対して、23.97%の回答率であった。昨年度の回答率より 10 ポイントほど高い結果であり、調査時期の変更などの取組みが功を奏したと考えられるが、依然率が低めの状況が続いている。

今回の調査項目（学修状況部分）は、学修時間に関する質問のみとした。「学修状況・満足度調査」の満足度に関する部分（質問 2 以降）については「満足度調査（2020 年度）分析結果」にまとめている。以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果を述べる。

学修時間に関する質問では、授業時間外学修の状況を中心に、一週間あたりの時間の使い方を尋ねた。今回は、前回と同じく「授業（実習・実験含む）への出席」、「授業の予習」、「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」、「授業以外（資格取得など）の学習」、「部・サークル活動」、「大学外でのアルバイトや仕事」、及び「就職・進学などに関わる活動」にかけている時間を、それぞれ尋ねた。

図中の配色は、時間が少ない順にそれぞれ次のようになっている。回答状況を示す図を、「ゼロ（未回答を含む）の者」と「実施している者」の回答の二つに分けて示す。

回答内容

■ : 「まったくない」、 ■ : 未回答
■ : 「週 1 時間未満」、 ■ : 「週 1～3 時間未満」、 ■ : 「週 3～5 時間未満」、
■ : 「週 5～7 時間未満」、 ■ : 「週 7～10 時間未満」、 ■ : 「週 10 時間以上」

質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間

授業に出席している時間（図 1）は、4 割強が「週 10 時間以上」と回答した。率としては前回より数ポイント高いが、「ゼロ」や「週 1 時間未満」の回答を合わせると 13%ほどある。例年見られる回答であり、学部によっては、「卒業研究」や「卒業論文」を履修している学生の可能性があるものの、今後、履修状況データとの照会を行うなど、原因を探りたい。

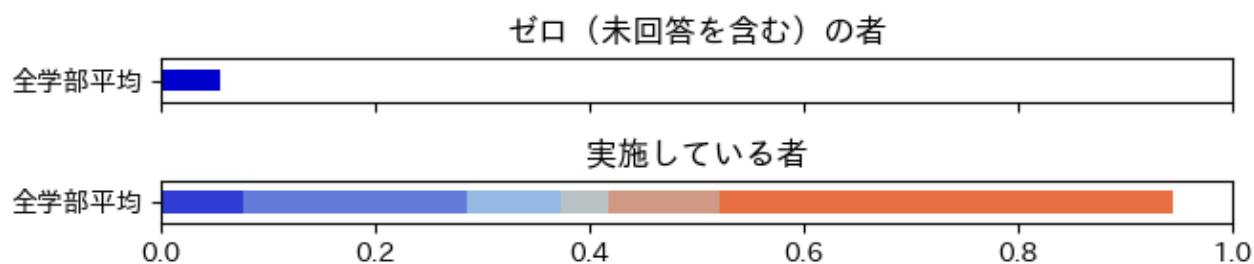


図1 「質問 1(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間の回答分布

授業の予習と復習に書ける時間は、図2や図3のような状況であった。予習よりも復習にかかる時間が多い傾向が、今回も見られた。

全体的な「実施している者」の割合は、予習が77.8%、復習が85.6%であった。年度によって多少の差が見られるが、予習は7割半ばから8割程度、復習は8割半ばから9割程度という状況である。

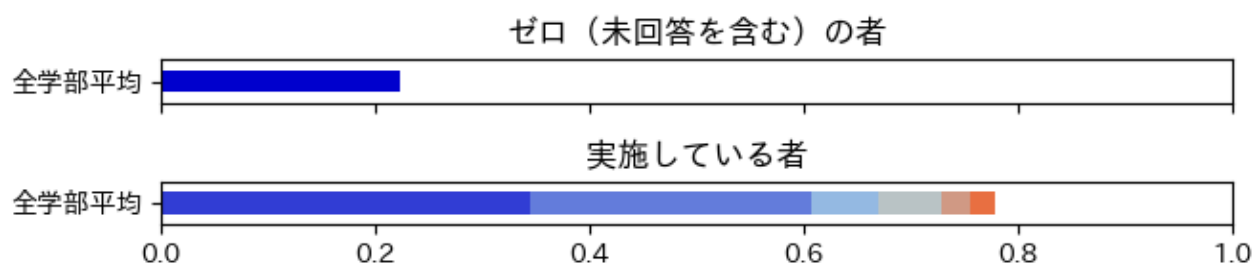


図2 質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間の回答分布

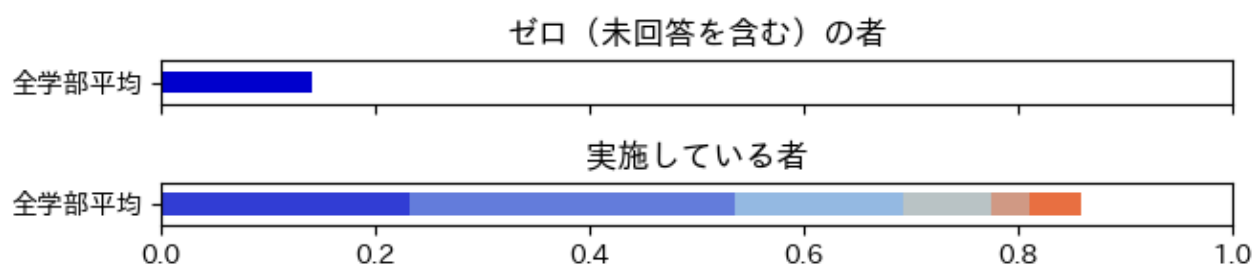


図3 質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間の回答分布

予習や復習と別の資格取得のためなどの自主的な勉強時間は図4のようなになった。「実施している」回答が3分の2程度で、その内訳も含めて前回とほぼ同じであった。

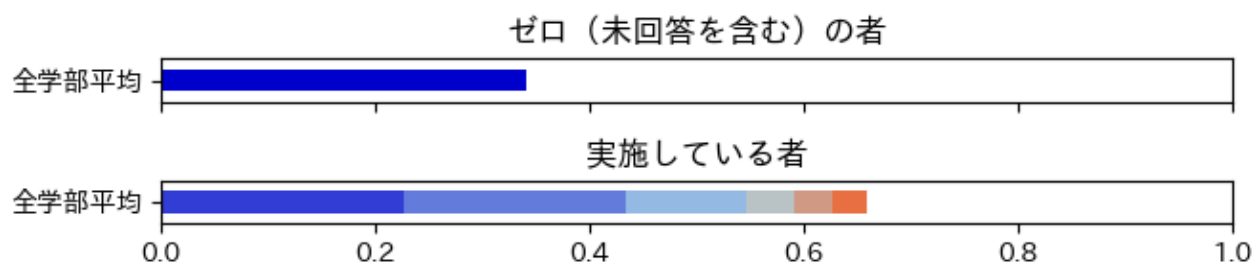


図4 質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」の回答分布

部活動・サークル活動にかける時間は、「ゼロ」が前回より 15 ポイントほどと大きく減少した。2020 年度に 6 割程度であった割合が、2021 年度には 7 割弱と増加傾向にあったが、今回は再び 6 割程度に戻っている。大学外でのアルバイトや仕事にかける時間は、前回まで同様に半数程度の学生が「実施している」と回答した。このうち週 5 時間以上行っている割合も、これまで同様に 3 割程度であった。就職・進学などに関わる活動にかける時間は、行なっている割合が前は 10 ポイント増加して 55.2%であったが、今回も 53.3%とほぼ同じ状況であった。

質問 1 の(ア)～(キ)の各回答の相関も、例年と同じく、(イ)予習と(ウ)復習が 0.77 と高い相関が見られた。また、(オ)部活動・サークル活動の時間は、(キ)就職・進学などに関わる時間と多少の相関が見られたが、他とはほぼ相関は見られなかった。

(参考) 2023 年度 「学修状況・満足度調査」(学修状況の部分)

質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間

質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間

質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間

質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」

質問 1.(オ) 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間

質問 1.(カ) 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

質問 1.(キ) 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

質問 1.(ア)～(キ)の選択肢

- ◇ まったくない
- ◇ 週 1 時間未満
- ◇ 週 1 ～ 3 時間未満
- ◇ 週 3 ～ 5 時間未満
- ◇ 週 5 ～ 7 時間未満
- ◇ 週 7 ～ 10 時間未満
- ◇ 週 10 時間以上